

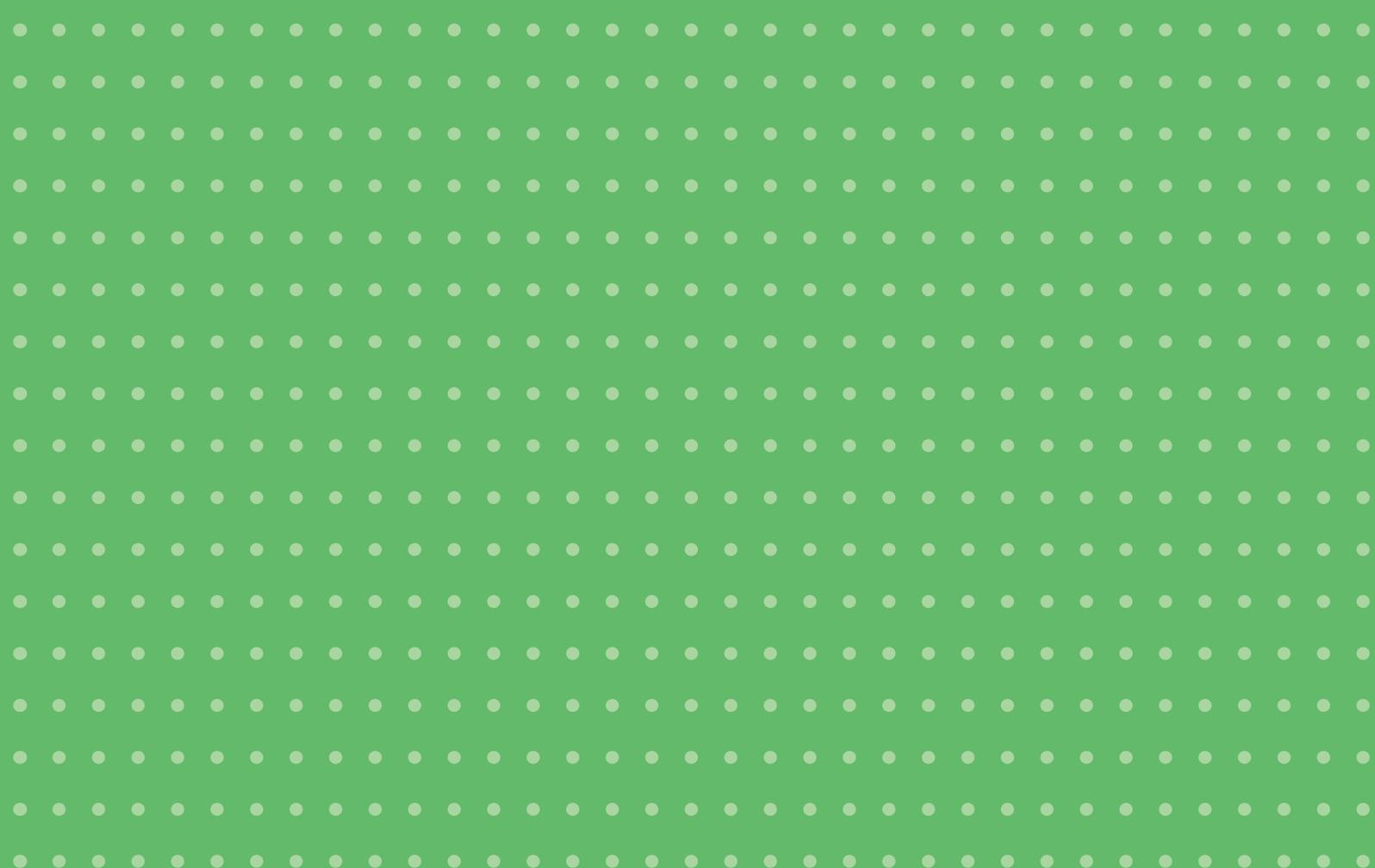
北海道
大 学

附 属

図 書 館

年 報 2023

Hokkaido University Library
Annual Report



Contents

館長巻頭言	1
令和4年度 Topics	
1. 教育学習支援	2
2. 研究支援	6
3. 社会貢献と国際化	9
4. その他	14
5. 新型コロナウイルス感染症への対応	18
連携事業	19
ガイダンス・講習会	20
活動日誌	22
学外講師派遣等	24
統計	25
図書館委員会名簿	29
組織図	30

北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の4つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標掲げる。

教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

附属図書館年報 2023 年版の 刊行に当たって

「附属図書館年報」は、附属図書館全体の概要紹介と活動の詳細な記録を報告するために、2014年から刊行を始め、本号で第10号となります。本年報は1年前の活動の記録を報告するもので、本号は2022年度の活動を報告しています。

新型コロナウイルスの大規模な流行が終わり、コロナ対策もかなり緩和されました。3年以上にわたって世界中で猛威を振るい、多くの犠牲者を出した新型コロナウイルスが、なぜ急に終息に向かったのか。現時点ではまだその明確な理由は不明なかもしれませんが、ひとまず終息したことにより、多くのことがコロナ前の状態に戻りつつあります。

附属図書館もコロナ前の状態にほとんど戻すことができました。開館時間も元に戻り、館内利用の制限もほとんどなくなり、学外の方にも利用頂ける状態になりました。特に北図書館は、1年生の利用で連日賑わっています。

毎年、全国大学生協連合会が実施している「学生生活実態調査」があります。2022年の「第58回学生生活実態調査」の結果を見ると、1日の読書時間の平均は32.7分。コロナ禍の過去3年と比べるとやや増加しています。この数値には読書時間0分の人（全体の46.4%）が含まれているので、それを除き、読書した人だけに限ると、1日平均は65.0分、過去3年と比べると微増という結果になっています。読書時間0分が46.4%という数字にやや驚きを感じますが、この数字も過去3年と比べると微減しています。しかし10年前の2012年は34.5%ですので、この10年で読書時間0分の学生が、3人に1人から2人に1人に増えたこととなります。この点については、この10年のインターネット環境の劇的な変化を考慮する必要があるかもしれません。94.7%の学生が、情報収集やコミュニケーションツールとしてSNSを利用しており、その50%以上が1日3時間以上利用しています。平均値だけ見れば、1日の読書時間の約3倍の時間をSNSに使っていることとなります。一方、登校日数については、2022年の1週間の登校日数の平均は3.9日で、2020年の2.0日、2021年の2.8日と比べると増えており、コロナ前の2019年の4.4日に近づいていることが分かります。対面授業の再開・増加により、学生がキャンパスに戻ってきたことが、こうした数字からも分かります。

ここまでは全国調査の結果ですが、北海道大学の学生について、本学の学務部がまとめた2022年度の「学生生活実態調査報告書」を見ると、附属図書館長として気になる部分がありました。自習を行う場所についてです。「自習を行う場所」を2つあげる調査があり、「自宅」が最も多く86.4%、



附属図書館長

山本 文彦

次いで「本学の図書館」で36.1%。コロナ禍前の2017年と比べると、「自宅」が70.1%から増えた一方で、「本学の図書館」は60.4%から大幅に減少しています。同じように研究室や教室も減少していますので、自宅で自習する学生が大幅に増えたと言えます。

この数字をどのように理解するか。いろいろな考え方があると思いますが、おそらくインターネットの利用が大きく影響していると思います。インターネットによって、自宅で十分に情報を得ることができ、図書館に取寄って行く必要がないのだと思います。同じことは教員にもあてはまります。以前は図書館に行かなければ調べることができなかったことが、研究室からパソコンですぐに調べることができるようになりました。私自身も10年前に比べると、図書館に行く機会が少なくなりました。

インターネット、さらには今話題のChatGPTなどの生成AI等々、目まぐるしい技術の発展とともに、附属図書館の役割や機能について、多面的な観点から検討する必要があると改めて思います。「国立大学図書館協会ビジョン2025」では、国立大学図書館の基本理念として、「国立大学図書館は、社会における知識基盤として、デジタル・非デジタルを問わず、知識、情報、データへの障壁なきアクセスを可能にし、それらを利活用するための環境を利用者に提供することで、教育の質保証、研究力やイノベーション力の強化を推進する国立大学の教育研究活動を支え、社会における新しい知の共有や創出の実現に貢献する。」とあります。

特に、この基本理念の最後の部分「社会における新しい知の共有や創出の実現に貢献する」ために、図書館がどのような機能を果たすべきか。附属図書館の職員だけでなく、大学の構成員の皆さんと広く意見交換したいと考えています。

本年報により、附属図書館が昨年度どのような活動を行ってきたのかをご理解頂くとともに、引き続き皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

令和4年度 Topics

1 教育学習支援

A 学習支援

(1) アカデミック・スキルセミナー

本学学生の進路・修学相談や主体的な学習支援を行うラーニングサポート室と協働し、アカデミック・スキルセミナーを企画運営しており、図書館は学習・研究スキルに関するセミナーを開催し、学修支援の一端を担った。

スタディ・スキルセミナー

学部学生1、2年次を主な対象として、大学での学習の基本となる「スタディ・スキル」を身に付けるためのセミナーをオンラインで開催した。図書館では、全学教育科目に提供している初年次学生向けの「図書館情報入門」の内容をベースにした「文献の探し方」の教材を用意し、学生が事前申込不要で自由に教材にアクセスするオンデマンド型のセミナーを通年で実施した。その結果、「文献の探し方」は通年でスライド教材214回、動画教材85回の利用があった。



ポスター

(2) めざせ100万語！英語多読マラソン

1) 全学教育科目英語授業でのエクリーの活用

今年度の英語多読マラソン新規参加者は288名、累計参加者は2,791名となった。

また、今年度も引続きメディア・コミュニケーション研究院の浜井祐三子教授、原田真見准教授の協力により、英語多読マラソンシステム「エクリー」が、全学教育科目の英語授業で活用された。



「めざせ100万語！英語多読マラソン」案内チラシ

2) 英語多読用電子ブックの拡充

令和2年度以降、学生の自宅での英語多読学習を支援するため、英語多読用電子ブックの拡充を行っている。利用可能な英語多読用電子ブックは、昨年度から248冊増加し、計1,897冊となった。

(3) 「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示



展示の様子

4月25日(月)～7月1日(金)、北図書館で新入生向けに「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示を行った。北海道大学生生活協同組合(以下、「北大生協」)書籍部と連携して実施したもので、同じタイトルの本が北大生協では購入でき、北図書館では借りることができるよう、同時期に開催した。アカデミックスキル(レポート・論文の書き方、プレゼンのしかた等)、ライフスキル&コミュニケーション、新生活応援、北海道関連の4つのテーマで、新生活のスタートを応援する図書を各会場で展開した。北大生協及び北図

書館についての広報ポスターやチラシ等も併せて展示し、紹介した。

期間中、展示した290冊中246冊が貸し出され、貸出回数は延べ824回となった。

(4) 「全国読書マラソン・コメント大賞」展示



展示の様子（北図書館）



展示の様子（本館）

北大生協も加盟する全国大学生生活協同組合連合会では、大学生を対象に読書の感想を募る全国読書マラソン・コメント大賞を開催している。そこで北大生協と連携し、学生が多様な図書に触れる機会を設けることを目的として、9月20日（火）～11月18日（金）に本館と北図書館で図書展示を行った。

歴代（平成20年～令和3年）の受賞作のうち図書館に所蔵があるものを、本館30冊、北図書館136冊展示し、併せて北大生協から提供された同大賞のポスターや冊子等も展示した。

本館では延べ85回、北図書館では延べ120回の貸出があった。

(5) 『「物理」「数学」「統計学」「化学」入門図書展示



展示の様子

6月20日（月）～8月22日（月）、北図書館で『「物理」「数学」「統計学」「化学」入門図書展示を行った。ラーニングサポート室と連携して実施したもので、総合教育学部1年生が前期試験の学習に役立つ所蔵資料に触れる機会を設けることを目的として、ラーニングサポート室へ推薦図書と推薦コメントを依頼し、展示した。

期間中、展示図書29冊中23冊が貸し出され、貸出回数は延べ48回となった。

B 情報リテラシー教育

(1) 図書館情報入門

「図書館情報入門」は、初年次学生を対象にレポートや論文作成に必要な学術文献の効率的な入手方法の習得を目的に実施している。全学教育科目の「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）」及び「主題別科目（論文指導）」において、教員からの依頼により、授業の1コマ（90分）を利用しオンライン教材または対面形式で実施した。

実施後のアンケートでは、「満足」と答えた学生が対面形式88.2%、オンライン教材83.1%となり、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせるといずれも98%以上となった。

(2) 文献収集セミナー（法学編）

【基礎からおさえる！法情報の探し方】

法学研究科法学政治学資料センターと連携し、図書館と法学政治学資料センターで所蔵している法学関連の図書や雑誌の網羅的な探し方や法学情報収集の基礎を身につけることを目的として対面形式で開催した。春と秋を合わせて5回実施し、計44名が参加した。

(3) 国際機関情報の探し方セミナー

国連寄託図書館・EU情報センターとして国際情報の入手方法についてわかりやすく解説し、グローバルな課題に対する情報収集スキルを高めることを目的として開催した。11月8日（火）に「OECD編」をオンライン形式で開催し8名が参加、11月15日（火）に「国連編」「EU編」を対面形式で開催し各編とも1名ずつ参加、計10名が参加した。

(4) 各種データベース講習会

研究や学習、就職活動等に幅広く役立ててもらうことを目的として、本学が契約する学術文献データベースや文献管理ソフトの利用講習会を専門の外部インストラクターとの協働により開催した。「EBSCOhost」「Web of Science」「日経テレコン」「JapanKnowledge Lib」「Mendeley」「Zotero」等に加え、「CAS SciFinder-n」「Reaxys」といった分野に特化したデータベース等も含め、本館、北図書館や部局での対面形式に加え、オンライン形式を合わせて計33回開催した。

(5) オーダーメイド講習会

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とするオリジナル型の講習会で、教員と図書館職員とで内容を相談しながら実施している。部局図書室の独自の分野に特化した内容の講習会も増えており、文献管理ツールの使い方に重点をおくケースや書庫ガイダンスを実施する等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形態で、オンライン形式及び対面形式により計38回実施した。

C | 学生と協力した図書館づくり

北海道大学ハルトプライズ×北図書館連携展示



展示の様子

国連が支援する世界最大の学生ビジネスコンテストハルトプライズは、ビジネスアイデアについて英語でプレゼンテーションを行う大会である。北図書館では学生団体「北海道大学ハルトプライズ」が開催する北海道大学ハルトプライズ学内大会と連携して、アウトプットやビジネス的思考法等、国際舞台で活躍するために役立つ資料21点を推薦文と共に展示した。併せて同団体から提供された学内大会のポスターも掲示した。11月2日（水）～11月28日（月）の期間で開催し、展示図書のうち18冊が延べ38回貸し出された。

D | 障がいのある学生への支援



電子化データ作成の様子

図書館では、障がいのある利用者に安心して利用してもらえるよう設備や貸出物品を整えている。

加えて、印刷された図書や論文を読むことが困難な学生のために図書館の資料を電子化する「プリント・ディスプレイのある利用者のための資料電子化サービス」を本学学生相談総合センターアクセシビリティ支援室と協働して行っている。

今年度は、登録利用者である学生からの依頼（141件）に対して、電子化業務のピアサポーター（支援学生）26名が主体となり、111件の資料を電子化し提供した。ピアサポーターの勤務は新型コロナウイルス感染症対応のうえ実施した。

なお、これまで電子化の対象資料は学修や研究に直接関係のある資料に限定してきたが、2月8日（水）～3月9日（木）にかけて、対象を本学の図書館（室）資料に拡張する試行を実施した。総依頼件数のうち30件がこの試行によるものであり、登録利用者である学生から好評を得られた。

また、全学教育科目「健康と社会」（講義題目：キャンパス・アクセシビリティ入門）において、電子化の法的な知識についての講義と文献電子化実務の実習を2名の職員が担当した。同時に「カラーユニバーサルデザイン」についても講義を行った。さらに、アクセシビリティ支援室主催のピアサポータースキルアップ研修において、電子化の意義についての講義を2名の職員が担当した。

この他、国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスへ、電子化が完了したデータ92件を提供し、加えて10月から運用を開始した国立情報学研究所読書バリアフリー資料メタデータ共有システムに参加し、218件を提供した。これらにより、電子化データの共有化を促進している。

今後も電子化データの全国共同利用体制への積極的な参加を含め、他大学・他機関と情報交換及び情報共有を行い、問題解決やよりよいサービスの提供を目指す。

E | 電子書籍の整備

図書館図書資料費の他、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算やHUCI（Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ）事業等様々な経費により、整備を進めた。

選定に当たっては、学部（教員）からの推薦の他、学生の利用が多いと見られるKinoDenの試読サービスも活用し、学生が必要とする書籍の把握に努め、幅広い分野から購入した。

その結果、利用できる電子書籍の数は、部局経費で購入されたものも含めると、和書は約2,300点、洋書は約5,100点増加し、合わせて約63,500点となった。（p.29「電子ブック提供タイトル数」参照）

主な電子書籍提供サービスであるKinoDenとMaruzen eBook Library（MeL）の令和4年のアクセス数上位5タイトルは次の通りである。

KinoDen

順位	アクセス数	タイトル
1	231	確率の基礎から統計へ 新装版
2	132	法哲学
3	128	TOEFL ITP® テスト 完全制覇
4	125	病理組織マップ&ガイド
5	121	データ解析のための統計モデリング入門

MeL

順位	アクセス数	タイトル
1	272	レベル別に学べる物理学 2 —カラー版—改訂版
2	210	分娩1～4期の看護実践 【動画】
3	183	解析入門 1（基礎数学 2）
4	178	量子力学 1（講談社基礎物理学シリーズ 6）
5	166	初歩から学ぶ固体物理学

2 研究支援

A 研究者向け講習会の実施

(1) 英語論文の書き方セミナー

昨年度に引続き、本学の国際化及び教育改革に対する取り組みへの支援「Hokkaido ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」(スーパーグローバル大学創生支援事業)を受け、「英語論文の書き方セミナー」の「基礎編」を3月8日(水)に、「応用編」を3月9日(木)にオンラインで開催した。今年度も「基礎編」に加えて「応用編」を開催し、英語論文の構成から各項目の書き方、日本人英語の欠点や改善策(脱日本的発想)にはじまり、鉄則やテクニックまで、英語論文の添削や学術論文指導等の経験豊富な講師が日本語で分かりやすく解説した。これから英語論文を執筆する大学院生を中心として文系・理系を問わず、「基礎編」43名、「応用編」29名が参加した。なお、当日の講義内容は録画の上、4月11日(火)までの期間限定視聴として、学内の希望者を対象に基礎編236名、応用編229名に配信した。

ネイティブスピーカーに評価される論文執筆のポイントや日本人英語の欠点や改善策(脱日本的発想)について、英語論文添削および学術論文指導のほか、執筆活動も経験豊富な講師が、日本語で分かりやすく解説します。文系・理系を問わず役に立つ内容です。

2023 基礎編 3/8 水 10:30~16:15

- 第1講義 論文査読報告と英語論文の特徴
- 第2講義 英語論文執筆の鉄則と明確に書くテクニック
- 第3講義 英文を書く時の文法事項

2023 応用編 3/9 木 10:30~16:15

- 第1講義 読みやすい英語(論文)の書き方
- 第2講義 英語論文の構成項目と書き方
- 第3講義 論文執筆で注意すべき文法事項、論文投稿

講師 小野義正氏
国語学研究所 英語学専攻 助教授
 1977年東北大学理学部入学生物地球化学専攻修士課程修了、理学博士
 2016年より現職
 著書に『ポイントで学ぶ科学英語論文の書き方 改訂版』ほか多数

対象 本学構成員
 定員 基礎編・応用編とも各日 80名
(いずれも事前申込が必須)

詳細、お申込みは
 図書館ホームページをご覧ください
<https://www.lib.hokudai.ac.jp/?p=112693>

お問い合わせ：附属図書館利用支援課 学習支援企画担当
 TEL: 011-706-5593 E-mail: nsef@lib.hokudai.ac.jp

ポスター

(2) 学内他部署と共同で実施したセミナー

先端人材育成センター・I-HoP 主催の以下2つのセミナーに協力した。いずれも、主に外国籍の大学院生・若手研究者を対象に、英文校正会社の外国人講師が英語で解説するセミナーである。

Writing a Manuscript for Journal Submission (英語論文執筆セミナー)

毎年実施しているもので、英語論文の執筆・投稿に係るポイント等を解説するセミナーである。12月1日(木)、Zoom ウェビナーで実施し、他大学の学生等を含め、103名が参加した。図書館は広報活動に協力するとともに、「英語論文執筆に役立つ図書リスト」の作成と配布を行った。

Essential Tips for Writing a Grant Application (助成金申請書の書き方セミナー)

昨年度に引続き実施したもので、助成金申請書の書き方を解説するセミナーである。2月28日(火)、Zoom ウェビナーで実施し、他大学の学生等を含め、41名が参加した。図書館は広報活動に協力した。

B 研究者向けサービス

(1) 文献検索相談・代行サービス

医系グループ(医学研究院・保健科学研究院・歯学研究院・薬学研究院の各図書室担当)では、本学の医系研究者を対象に、研究テーマに応じた先行研究調査を代行する「文献検索相談・代行サービス」を実施した。

本サービスは、検索テーマやキーワード等を研究者と相談の上、図書館職員が国内外のデータベースから文献調査を行う他、データベースの利用方法、文献管理や入手方法に関するアドバイスを提供するものである。平成28年7月のサービス開始以来、特に診療ガイドライン(GL)やシステマティックレビュー(SR)のための網羅的な文献調査を必要とする研究者を支援してきた。令和3年度にはそれまでの取り組みが評価され、国立大学図書館協会賞を受賞している。

今年度は計19件の申込みがあった。申込者の所属部

局の内訳は、医学研究院7件、保健科学研究院9件、歯学研究院2件、遺伝子病制御研究所1件だった。申込目的の内訳は、GL・SR等作成が9件、修士・博士論文執筆が3件、その他の先行研究調査に関する文献検索が7件だった。

また、大学図書館研究会第53回全国大会分科会及び「医学図書館」誌において事例報告を行った^{1) 2)}。

- 1) 川村路代. 北海道大学附属図書館におけるシステムティックレビュー執筆支援. 2022. <http://hdl.handle.net/2115/86814>, (参照 2023-04-11).
- 2) 川村路代, 河野由香里. 北海道大学附属図書館「文献検索相談・代行サービス」実践報告. 医学図書館. 2022, vol.69, no.3, p.160-164.

(2) 研究業績分析支援サービス

歯学部図書室では、本学の歯学研究者を対象に「研究業績分析支援サービス」を実施した。

このサービスは、研究者から依頼を受け、論文数、被引用数、Top10%論文数や国際共著論文数等の研究業績関連の指標について、どのような指標があるかを案内し、算出方法を伝えるものである。自身で算出する時間がない利用者には職員が代わりに算出する。

令和4年1月にサービスを開始し、令和4年度は2件の利用があった。

C | 学術研究コンテンツの整備

(1) 令和5年度学術研究コンテンツの整備

本学では、平成29(2017)年度分選定より特定経費(全学で使用する電子ジャーナル及びデータベース(以下、「学術研究コンテンツ」)整備のために配分されている経費)の上限が設定された。その一方で、毎年原価値上げや為替相場の影響により、学術研究コンテンツ整備にかかる経費が増大し続ける状況は変わっていない。

この状況に対応するため、令和3年度には「電子ジャーナル等整備検討委員会」が新たに設置された。

この委員会でとりまとめられた提言に基づき、令和5年度特定経費による学術研究コンテンツについては、令

和4年度タイトルを上限として図書館で選定を進めることが認められ、電子ジャーナルについては令和4年度購読タイトルをすべて継続することとなった。データベースについては、過去3回の調査で部局から継続希望が0件であった1点を中止した。

(2) バックファイルの整備

電子ジャーナルのバックファイルを導入することにより、研究者は、現在の研究成果だけでなく過去の研究成果にもアクセスすることが可能となる。

令和4年度は、電子ジャーナルバックファイル導入方針に基づき、AIP(American Institute of Physics)の2タイトル(「Journal of the Acoustical Society of America」「Journal of Rheology」)、APS(American Physiological Society)提供の「APS Journal Legacy Content(「AJP-Gastrointestinal and Liver Physiology」他13タイトル)」、Wiley社提供の「Annals of the New York Academy of Sciences」を買取方式で導入した(使用可能年は各タイトルにより異なる)。

また、Wiley社のUBCMモデル(一定額を前払いすることにより、同社のバックファイル全タイトルが1年間利用可能となり、1年経過後には前払い額相当のバックファイルタイトルが買取可能となるモデル)を令和3年度に続けて導入した。

(3) 電子ジャーナル等整備検討委員会の活動

電子ジャーナル等整備検討委員会は、電子ジャーナル・データベースの安定的な整備のための基本的な考え方や財源の在り方、さらには新たな研究支援の可能性等、全学的観点から本学に必要な方策を提言するため、令和3年10月に設置された委員会である。

令和4年度は「北海道大学における電子ジャーナル等の整備方策について(提言)」を7月に取りまとめ、8月の理事会議に報告した。同提言に盛り込まれた令和6年度以降の整備方策の基本方針は次の通りである。

- ① 研究大学「北大」として、電子ジャーナル等は、全学的観点により学術研究活動のためのインフラとして整備する。
- ② 現在契約している電子ジャーナル等を基本として、本学の研究者や学生が必要とするコンテンツを維持するよう努める。

- ③ ②以外の電子ジャーナル等については、必要とする部局の経費により整備する。
- ④ 電子ジャーナル等の整備にあたっては、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）等の活動と連携するとともに、複数年契約等、契約形態の変更により効果的に整備できる場合は利用状況等も踏まえて実施する。
- ⑤ 附属図書館は、電子ジャーナル等が十分に活用されているかを検証し、第5期中期目標期間における整備に係る検討を行うため、毎年度利用状況を調査する。

D | 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成20年5月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については、1件の申請があったが、審査の結果、今回は採択を見送った。

また、欧文誌については、文系8部局を対象に募集を行い、以下の3誌を採択した。

- ・“Acta Slavica Iaponica”（スラブ・ユーラシア研究センター）
- ・“Journal of Applied Ethics and Philosophy”（文学研究院）
- ・“Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences”（文学研究院）

この事業により、令和4年度までに図書を22冊、欧文誌を延べ5誌刊行した。刊行した著作は本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また欧文誌は電子版が利用可能である。

E | 北海道大学学術成果コレクション (HUSCAP)

収載紀要論文における抄録へのCC0の適用

HUSCAPに収載されているDOIを付与する紀要論文の抄録をCC0（パブリック・ドメイン提供）とすることについて、HUSCAP Webサイト上に告知を掲載し、オプトアウトを実施した。対象となる抄録について、CC0への適用に同意いただけない場合は連絡するよう権利者に依頼したところ、期間内に権利者からの申し出はなかった。

オプトアウト期間：令和4年5月2日（月）～9月30日（金）

3 社会貢献と国際化

A 北方資料公開

(1) 北方資料掲載申請

全国からの依頼によるテレビ放送や図書等への写真掲載等の許可件数は 121 件あり、資料点数としては 311 点であった。内訳は以下の通り。

- ・ 放映許可件数：15 件 資料数：33 点
- ・ 掲載許可件数：106 件 資料数：278 点

(2) 北方資料データベースアクセスランキング

北方資料データベースのアクセス数上位資料は以下の通り。

順位	資料名（請求記号）	アクセス数
1	開拓使札幌本庁仮庁舎と官員たち (A (b) 60)	146
2	蝦夷国全図（軸物 48）	98
3	石狩国札幌市街之図（図類 858）	96
4	松前蝦夷地絵図（図類 647）	93
5	札幌市街之図（図類 964）	85

※算出条件：書誌ページを開いたユニークユーザーの数



1 開拓使札幌本庁仮庁舎と官員たち（明治 4 年）
（パブリックドメイン）



2 蝦夷国全図（天明 5 年）
（パブリックドメイン）



3 石狩国札幌市街之図（明治 10 年代末）
（パブリックドメイン）



4 松前蝦夷地絵図
（パブリックドメイン）



5 札幌市街之図
（明治 22 年）
（パブリックドメイン）

(3) 北方資料企画展示

毎年、所蔵資料を一般の方にも紹介する企画展示を図書館本館で開催してきたが、一昨年度から新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、Webによる資料公開を行っている。

3月13日(月)から「古写真で巡る札幌の建築」を開催した。このWeb展示では北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)や豊平館等、札幌市内の国指定重要文化財と国指定史跡の建物の写真を中心に、図面や報告書等の関連資料を紹介している。また、資料の詳細や画像をオンラインで閲覧できる北方資料データベースへのリンクを整備しており、画像の多くは高精細画像公開の国際規格IIIF(International Image Interoperability Framework)に準拠したものとなっている。



Web 展示企画 TOP 画面



資料紹介画面

B | 国際連携強化

(1) 国連寄託図書館、EU 情報センター

図書館は、日本で3番目の国連寄託図書館であり、日本で8番目のEU情報センター(EUi)である。

1) EU フレンドシップウィーク関連図書展示



展示の様子

毎年、駐日欧州連合代表部広報部と国内のEU情報センターが、ヨーロッパデー(5月9日)近辺に連携して行う「日・EUフレンドシップウィーク」のイベントに参加している。今年は、5月9日(月)～5月31日(火)に、本館オープンエリアで「EUで今年注目な国をピックアップ:2022年議長国のフランス・チェコを知ろう!」と題して、EU議長国関連の図書展示(ブックログ公開含む)を行い、34冊が貸し出された。

2) 北海道大学附属図書館×SDGs 関連図書展示



展示の様子

国連広報センターが推奨するSDGs活動の一環として、11月1日(火)～11月30日(水)に本館オープンエリアで、SDGs関連図書展示(ブックログ公開含む)を行い、本学構成員に改めて認識してもらうとともに図書の利用促進を図った。今回は「1 貧困をなくそう」をテーマに行い、29冊が貸し出された。

3) 国連広報センターとの協力

1月19日(木)に国連広報センター主催の国連寄託図書館研修会議がオンラインで開催された。講演会、国連広報センターブリーフィング、各機関の近況報告、主な図書館のオンライン訪問、図書館間オンライン交流等のプログラムが生まれ、52機関78名が参加し、図書館からも2名が参加した。

(2) クレアモント大学図書館職員講演会の実施

8月26日(金)、アメリカ・クレアモント大学の図書館員ジェニファー・ビーマー氏による講演会を実施し、職員10数名が参加した。ビーマー氏は、研究成果のオープンアクセスに関する日米比較、図書館員のキャリアパス比較を目的として研究活動を行っている。講演では、アメリカにおけるオープンアクセスや大学図書館の状況が、国の政策、各大学の予算やプラットフォーム、大学間のコミュニティといった多面的な切り口から述べられた。特にタイムリーなニュースとして、同日朝にホワイトハウス科学技術政策局から新しいオープンアクセス方針が発表されたことが、喜びとともに紹介された。講演後は、新しいオープンアクセス方針の詳細や、日本の研究者が置かれている状況について、質疑応答と意見交換が行われた。

また、機関リポジトリの運用や電子ジャーナル契約について、それぞれの担当係への個別インタビューも行われた。

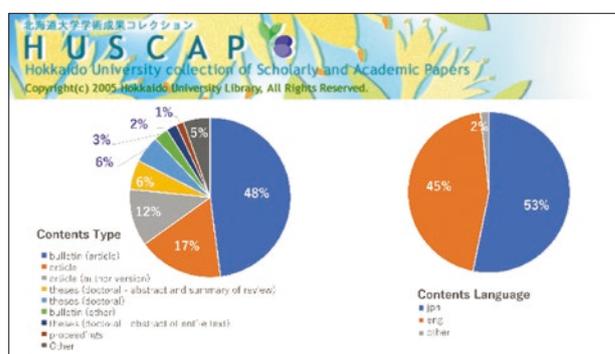
Breaking News - August 26th!

White House Office of Science & Technology Policy (OSTP) issued an updated memorandum, "[Ensuring Free, Immediate, and Equitable Access to Federally Funded Research](#)."

- "articles resulting from all U.S. federally funded research freely available and publicly accessible by default in agency-designated repositories without any embargo or delay after publication."
- eliminate the 12-month embargo period and make articles—and the underlying data needed to validate results—openly available in machine readable formats.

<https://sparcopen.org/news/2022/taxpayers-to-get-immediate-access-to-publicly-funded-research/>

ビーマー氏の発表スライドより



HUSCAP の紹介スライド

(3) ダイバーシティ&インクルージョンキャンペーン図書展示（本館、北図書館）



展示の様子（本館）



展示の様子（北図書館）

10月から1月までの4ヶ月間、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（DEI推進本部）との共催により、本館及び北図書館において「ダイバーシティ&インクルージョンキャンペーン図書展示」を実施した。今年度は図書展示に加え、展示図書に関する感想等を自由に記入し意見交流を図る「付箋コメント交流企画」も行った。

展示では、「ジェンダー・セクシュアリティ」について考える」「“DEI”について考える」「差別やバイアス／偏見に気づく」「“生き方”を模索する」の4テーマを設け、学内で募集した推薦図書を合わせて、本館では71冊、北図書館では72冊の関連図書を展示した。

本館、北図書館ともに多くの展示図書が貸し出され、学内における「ダイバーシティ&インクルージョン」についての認知向上とともに、本学構成員間の意見交換の場づくりに寄与することができた。

4 その他

A 外部資金獲得

(1) 古本募金

図書館では、自己収入獲得を目的として平成28年から「古本募金」事業に取り組んでいる。本館と北図書館に設置した回収ステーションに古本を入れてもらう他、部局図書館・室や研究室等での回収も行っている。

古本は業者が買取り、図書館の雑収入となる。令和4年1月から12月の買取冊数は10,640冊、買取額は681,524円となった。

なお、この収入により、令和4年度は、北図書館閲覧室の椅子18脚を購入した。

(2) 外部資金申請

学内の図書館外の資金として、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択構想「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」(HUCI)構想に係る取組み等に対する支援に申請し、採択された。これにより「英語論文の書き方セミナー」の基礎編及び応用編を実施した(詳細はp.6参照)。また、学習用の洋書(電子ブック)も購入した。

また、令和3年度に採択された、田嶋記念大学図書館振興財団の助成金90万円により、令和4年度にマイクロ資料の書架を導入した。

B 調査研究室職員プロジェクト実施報告

令和4年4月に図書館職員からプロジェクトを募集したところ、3件の応募があり、審査の結果、3件全ての実施が承認された。

各プロジェクトの活動目的等は次の通りである。

(1) 普通の本・製本雑誌の利用可能年限を延ばすための修理技術の共有化・共通化プロジェクト

1) 主な活動目的

基本的に昨年度採択された同名のプロジェクトの継続である。貴重書の補修ではなく、ステーブラの劣化した

明治末期～昭和30年代近辺のパンフレット類等、通常の利用に供すべき図書についての修理技術の蓄積と向上を目的として行う。

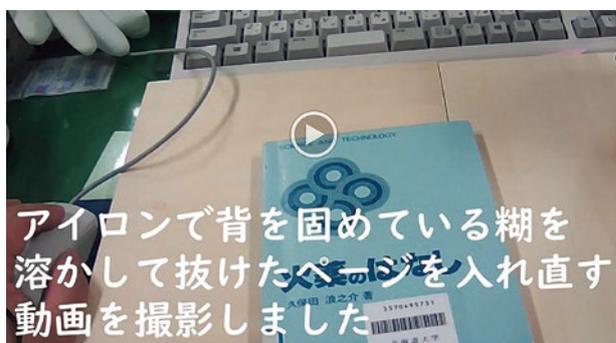
2) 参加調査研究室員

嶺野智康、石崎陸、山崎佳子

3) 主な活動成果

222冊の修理を行うことができた。

また、アイロンで本の背の糊を溶かして修理する動画を1本作成した。



修理の動画

(2) 「南葵文庫を探せ」東大重複本来歴調査プロジェクト

1) 主な活動目的

主に書庫・和書に所蔵されている1950年1月9日に東京帝国大学から北海道帝国大学法文学部へ管理換された資料について蔵書印から旧蔵者を調査する。1950年1月9日に受入したものを登録番号からリストにしたところ資料番号数は1,973冊、タイトル数は200程度。リストのうち半分くらいが和装本ではないかと思われる。リストに沿って書庫内で端から撮影をしていき、結果をリスト化・調査する。リストのうちの多くは、現在「書庫・和書」に配架され貸出に供されている。汚損や不適切な補修等が行われる可能性があるため、調査により貴重と判明した書籍については貴重資料室等に配架する等の提言を行いたい。

2) 参加調査研究室員

梶谷晶子、森菜摘、西川奈緒、三関紫芳、川村幸、三浦千穂、嶺野智康、猿橋キヨミ、高石しのぶ

3) 主な活動成果

調査した書誌数216件のうち親書誌をもつ結果が同じ子書誌は記載をまとめたものがあるため調査結果は157件となった。印のないものは16件、およそ9割に蔵書印・

仕入印等なんらかの捺印や書き入れがあった。

157件のうち、「南葵文庫」の印のあるものは47件とおよそ30%だった。その中には島田篁村、小中村清矩、坂田諸遠等、南葵文庫を構成する文庫も含まれている。

南葵文庫以外で件数の多いものとして、渡辺青洲の「青洲文庫」22件、武田醉霞（信賢）の「武田氏蔵書印」10件、三条実万の「三條之印」のあるもの等の三条実憲東大寄贈本6件、「渡部文庫珍藏書印」等の渡部信東大寄贈本5件、「伊地知峻蔵書」等の伊地知峻東大寄贈本5件と続いた。

蔵書印はラベルも含めて162種採録し、そのうち印主の判明したものは約48%だった。

和装本120件のうち、見返し裏に書き入れや仕入印のあるものは約35%だった。仕入印は74種採録し、印主の判明したものは31%だった。版元印は26種採録した。

国文学研究資料館の蔵書印データベースや人名辞典等を参照して、印主を旧蔵者情報として調査できたものが、蔵書印40件、仕入印・版元印14件だった。

これらの結果により、貸本屋からはじまって南葵文庫あるいは東京帝国大学へ寄贈した元の所有者から北海道帝国大学まで書籍の辿った足跡を明らかにすることができた。

さらに、現在東京大学附属図書館蔵書目録で検索できるコレクション「南葵文庫」「西山五郎本」「鷗外文庫」「岡百世文庫」「三條公爵家本（三條文庫）」「青洲文庫」「渡部文庫」から遺漏した書籍が明らかになったため、各文庫の全体像を補完することができた。

また、北海道大学附属図書館蔵書目録の検索語について、補修・帙作成について、別置あるいは貸出し条件の見直し等、3点について提言を行った。

(3) 新北図書館構想の検討

1) 主な活動目的

新北図書館構想を検討する。令和4年度は新しい図書館に求められる機能や施設を確認し、自由な発想で新しいアイデアを出し合う。

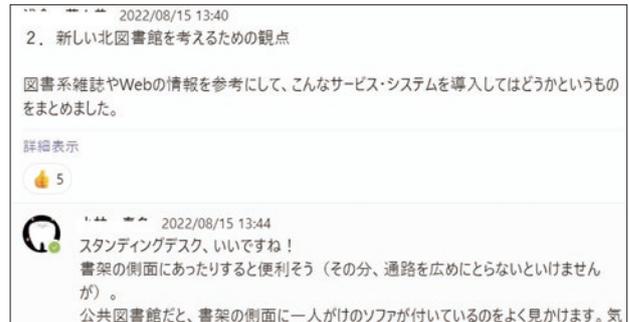
2) 参加調査研究室員

鈴木秀樹、眞野光章、森菜摘、菊池満史、石崎睦、小林果音、浅倉菜々美、小林泰名

3) 主な活動成果

Microsoft Teams を使用し新北図書館について意見交換・情報交換を行い、「新北図書館構想（令和4年度ま

とめ）」を作成した。作成にあたっては、北図書館に関する統計データ、自己点検評価のためのアンケート調査結果、諸外国を含む他大学の状況等を参考にしつつ意見交換等を行った。10月には稲葉副館長（北図書館長）との懇談会を開催し、また、改装された室蘭工業大学附属図書館の見学会へ参加した。



Microsoft-Teams 上での意見交換の様子

C 広報活動

(1) 附属図書館公式 Twitter

新型コロナウイルス感染症への対応の一環で、開館状況等の迅速な告知を主な目的として令和2年4月21日に開設した。今年度も、図書館の利用方法や展示等イベントの案内を途切れることなく投稿を続けた。ツイート数はリツイートも含めて1,284件、フォロワーは3月末時点で2,098名である。

図書館からの情報発信という性格上難しいところはあるが、学生の関心に沿った、親しみやすいツイートを続けていくことが今後の課題である。

URL : https://twitter.com/Hokudai_Library



附属図書館 Twitter

(2) note

職員が日々の業務内容や業務を通じて考えたこと等を紹介し、大学図書館やその業務に関心を持ってもらうことを目的として令和2年2月16日に開設した。

令和4年度は、3本の記事を新たに公開した。フォロワーは3月末時点で143名である。図書館の「中の人」の生の声を読むことができる貴重な場ともなり、SNSでも好意的に取り上げられた。

URL : https://note.com/hu_library



附属図書館 note

D 自己点検・評価及び利用者アンケートの実施

令和元年度に引続き、『令和4年度北海道大学附属図書館自己点検・評価報告書（令和元年度～4年度）』をまとめた。

報告書では、図書館の活動について「教育学習支援」「研究支援」「連携」「社会貢献と国際化」「組織運営」の5つの観点から点検・評価を行った。

評価の概要は、以下のとおりである。

①教育学習支援：

令和2年度～3年度は、コロナ禍による臨時休館や短縮開館の影響で、本館・北図書館の入館者数及び開館時間は令和元年度と比較して1/4～1/3と大幅減少した。貸出冊数についても大幅に減少しているが、郵送サービスの実施もあり、令和元年度と比較して2/3程度の減少に留まった。また、情報リテラシー教育については、コロナ禍においてもオンラインを活用して開催したことから、大幅な減少とはならなかった。

②研究支援：

令和3年度に「電子ジャーナル等整備検討委員会」を立ち上げた。研究力強化に必要な電子ジャーナル・データベースについて、安定的な整備のための基本的な考え方や財源の在り方等を協議し、電子ジャーナルは学術研究活動のためのインフラとして整備すること等を提言としてまとめた。

その他、オープンサイエンス及び研究データ管理に関する取組みを引続き実施しており、情報基盤センターと協力して国立情報学研究所の研究データ管理基盤（GakuNin RDM）の実証実験等に参加した他、本学の研究者に対して共同で「北海道大学における研究データ管理に関するアンケート」を実施した。特に研究データに

関しては、本学の機関リポジトリである HUSCAP と GakuNin RDM との連携を進めるためにも新 JAIRO Cloud への移行を含めたシステム面での検討が課題である。

③連携：

これまで同様に、学内外の各組織との連携を継続している。国内組織では、国立大学図書館協会、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）及びオープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）等の各組織に委員や協力員等として参画し、令和4年度からは JPCOAR 事務局へ職員1名を派遣している。また、学内外の会議・イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策のため中止を余儀なくされた時期もあったが、早期にオンラインによる開催等に切り替えたことにより、ほぼ通常どおり開催してきた。

④社会貢献と国際化：

図書館は、一般市民への開放等で社会貢献に一定の役割を果たしてきたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、一般市民の利用は令和2年度から制限したままである。一方で、本学が所蔵する北方資料をオンラインで閲覧可能となるよう、北方資料データベースの整備を進めた。また、語学学習や留学生支援については、令和2年度は中断していたものの、令和3年度から再開した。令和3年11月には、ソウル大学校図書館職員とのオンライン情報交換会を実施した。

⑤組織運営：

平成30年度の改組により実施した部局図書室のグループ化により、部局図書室を通じた研究支援機能について一部成果が現れてきた。顕著な例では、医系グループが国立大学図書館協会賞を受賞した「システムティックレビュー作成支援事業」がある。

なお、今回の自己点検・評価の基礎資料とするため、利用者アンケート調査を令和4年6月27日（月）～7月29日（金）に Web フォームを使って実施した。調査は、新型コロナウイルス感染症の影響で一般市民の利用を停止していたことを踏まえ、学内構成員（教員・大学院生・学部学生）のみを対象とするとともに、前回まで実施していた紙のアンケートは中止した。

また、自己点検・報告書一式は、別冊『附属図書館利用者アンケート調査報告書（令和5年3月）』とともに機関リポジトリ HUSCAP で公開している（URL：<http://hdl.handle.net/2115/88647>）。

5 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) トピックス

利用者からのニーズと感染拡大防止対策との両立を図るため、年間を通じて段階的な利用緩和を進めた。

5月16日(月)から約2年振りに開館時間を通常に戻し、早朝開館も再開した。その後、グループ学習室の利用、一部学外者の受入れ、北図書館グローバルフロアの会話利用を順次再開し、さらに、利用状況に応じ段階的に座席数を拡大した。一年を通し、学内外ともに感染

症対策についての大きな方針変更はなかったため、図書館の利用制限緩和を進めることができ、一昨年や昨年のような利用に関する強い要望は少なくなった。

また、郵送サービス(貸出・複写)については、利用状況が昨年度と比べて激減していることや、令和5年5月8日(月)以降新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが変更となることを受け、役目を終えたとして2月28日(火)をもって終了した。

(2) 対応記録

月	日	主な出来事	大学BCPレベル	図書館(本館・北図書館)対応
4月	1日		1	
5月	16日			◎開館時間正常化(通常期 平日 8:00~22:00)
7月	22日			◎グループ学習室の再開(本館)(上限人数等の制限)
9月	7日			◎一部の学外者の利用再開(研究者等、対象者を限定。事前予約制)
	14日			◎一部のグループ学習室を再開(北図書館)(上限人数等の制限)
	26日	感染者全数把握の簡略化(全国一律)		
10月	24日			◎西棟3階のグローバルフロアを会話可に運用変更(北図書館)
	28日			◎語学自習室を「サイレント視聴室」に改称し利用を再開(本館)
11月	22日	北海道の新規感染者数が過去最多		
1月	27日	感染症法上の位置づけ「5類」引き下げ決定		
2月	3日	北海道が警戒レベルを1に引き下げ		
	22日			◎語学自習室の利用制限緩和(1日あたり人数制限を撤廃)(北図書館)
	28日			・郵送貸出サービス・複写物郵送サービス終了
3月	13日	マスクの着用が個人判断に変更(学校は4月1日から)		
	22日			◎学外利用者サービスを拡大(卒業生、放送大学学生等を追加)。予約不要(一部予約制)

(3) サービス利用状況

1 郵送貸出サービス

	受付件数	受付冊数
本館	8	19
北図書館	7	23
合計*	11	42

*1件で本館と北図書館両方の蔵書を申し込む場合があるので個別の受付件数と合計受付件数は一致しない。

2 郵送複写サービス

	受付件数	複写件数
本館	1	1
北図書館	0	0
合計	1	1

連携事業 令和4年度

No.	時期	内容	連携・連携先	学内外	備考（北大時報やTwitter掲載等）
1	3/1-5/10	「世界展開力強化事業」図書展示（北図書館）、広報協力（本館・北図書館、通年）	学務部国際交流課	学内	
2	4/1-4/15	自分を変える、時代を変える 科学技術コミュニケーション図書展示（北図書館）	CoSTEP	学内	Twitter 4/7
3	4/15-6/15	スペイン関連図書特設コーナー設置（北図書館）	スペイン語担当教員（メディア・コミュニケーション研究院増田哲子准教授他）	学内	北大時報 No.820（令和4年7月）
4	4/25-7/1	「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示（北図書館）	北海道大学生生活協同組合書籍部	学外	北大時報 No.821（令和4年8月）
5	5/9-5/31	日・EU フレンドシップウィークイベント「EUで今年注目な国をピックアップ：2022年議長国のフランス・チェコを知ろう！」図書展示（本館）	EU 情報センター	学外	Twitter 5/10
6	6/20-8/22	【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示（北図書館）	高等教育推進機構ラーニングサポート室	学内	Twitter 6/21
7	9/20-11/18	全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示（本館・北図書館）	全国大学生生活協同組合連合会	学外	Twitter 9/21
8	10/3-1/31	ダイバーシティ&インクルージョンキャンペーン図書展示（本館・北図書館）	ダイバーシティ・インクルージョン推進本部	学内	Twitter 12/5
9	11/1-11/30	「北海道大学附属図書館×SDGs 関連図書展示」（本館）	国連広報センター	学外	Twitter 11/1
10	11/2-11/28	北海道大学ハルトプライズ×北図書館連携展示（北図書館）	北海道大学ハルトプライズ運営委員会	学内	
11	12/1	Writing a Manuscript for Journal Submission（英語論文執筆セミナー）（オンライン同時配信）	先端人材育成センター・I-HoP	学内	Twitter 11/4
12	12/15	令和4年度北海道地区大学図書館職員スキルアップセミナー：西洋古典資料保存講習会（本館）	北海道地区大学図書館協議会、一橋大学	学外	
13	2/28	Essential Tips for Writing a Grant Application（助成金申請書の書き方セミナー）（オンライン同時配信）	先端人材育成センター・I-HoP	学内	Twitter 1/30
14	3/8-3/9	「英語論文の書き方」オンラインセミナー（基礎編・応用編）	国際部国際企画課	学内	Twitter 2/7

ガイダンス・講習会

令和4年度

No.	時期	内容
1	4/8-2/23	スタディ・スキルセミナー（学部1年生）（オンデマンド）
2	4/13	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：児矢野マリ教授）
3	4/14、21、5/12	基礎からおさえる！法情報の探し方@北大文献収集セミナー法学編（春編）（対面）
4	4/14	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（文学研究院：佐藤健太郎教授）
5	4/18	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（法学研究科：嶋拓哉教授）
6	4/18	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：齋藤由紀教授）
7	4/21	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：中川寛子教授）
8	4/25	オーダーメイド講習会（対面）（経済学研究院：満園勇准教授）
9	4/26	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面＋オンライン同時配信）（文学研究院：小川佐和子准教授）
10	4/28	オーダーメイド講習会（対面）（メディア・コミュニケーション研究院：城山英巳教授）
11	4/28	オーダーメイド講習会（対面）（工学研究院：岡崎太郎教授）
12	5/16	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：山崎幹根教授）
13	5/9	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：宍戸穂助教）
14	5/9	オーダーメイド講習会（対面＋オンライン同時配信）（教育学研究院：篠原岳司准教授）
15	5/11	オーダーメイド講習会（対面）（文学研究院：樋口麻里准教授）
16	5/11、5/12	オーダーメイド講習会（対面）（医学研究院：玉腰暁子教授）
17	5/20	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（経済学院：春日部光紀准教授）
18	5/24	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：平野美千代准教授）
19	5/24	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：近藤健一郎教授）
20	5/24-5/27	CAS SciFinder-n オンライン講習会（オンライン同時配信）（薬学部、工学系、理学部、農学部、環境科学院、北キャンパス、水産学部） 全5回
21	5/30-6/1	Reaxys オンライン講習会（オンライン同時配信）（薬学部、工学系、理学部、水産学部） 全4回
22	6/8、6/9、6/14	文献収集セミナー（文系の方向け）（対面）
23	6/14	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：近藤健一郎教授）
24	6/20	オーダーメイド講習会（書庫ガイダンスのみ）（対面）（法学研究科：曾野裕夫教授）
25	6/27、6/29	Mendeley オンライン講習会（セットアップ編・実際の使い方編）
26	6/21、6/29	Mendeley オンライン講習会（セットアップ編・実際の使い方編）
27	6/29	オーダーメイド講習会（対面）（経済学研究院：高井哲彦准教授）
28	7/5	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：近藤健一郎教授）
29	7/6	歯学研究概論（大学院1年生）（オンデマンド）（歯学研究院）
30	7/21	JapanKnowledgeLib（ジャパンナレッジLib）講習会（オンライン）
31	7/26	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：近藤健一郎教授）
32	9/26	基礎実習ガイダンス 参考文献の探し方（対面およびオンデマンド）（薬学研究院）
33	10/6	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：田上貴祥助教）

No.	時期	内容
34	10/14	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：齋藤陽子講師）
35	10/17	オーダーメイド講習会（対面）（薬学研究院：薬物動態解析学・臨床薬剤学）
36	10/18	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：児矢野マリ教授）
37	10/19	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：齋藤由紀教授）
38	10/19-10/26	CAS SciFinder-n オンライン講習会（オンライン同時配信）（薬学部、工学系、理学部、農学部、環境科学院、北キャンパス、水産学部） 全5回
39	10/20	EBSCOhost オンライン講習会
40	10/21	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：大串倫一助教）
41	10/21	オーダーメイド講習会（対面）（法学研究科：児矢野マリ教授）
42	10/24-27	これから研究を始める医系研究者向けウェビナー 文献収集から論文投稿まで（オンライン同時配信+オンデマンド）（医学部、保健科学研究院、薬学部、歯学部） 全4回
43	10/26、10/28、10/31	文献収集セミナー（文系の方向け）（対面）
44	10/27	オーダーメイド講習会（対面）（メディア・コミュニケーション研究院：城山英巳教授）
45	10/27	オーダーメイド講習会（対面）（教育学研究院：大谷和大講師）
46	10/27-10/31	Reaxys オンライン講習会（オンライン同時配信）（薬学部、工学系、理学部、水産学部） 全4回
47	11/1	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：石田知也助教）
48	11/2	eol 講習会（対面）（経済学研究院）
49	11/8	国際機関情報の探し方セミナー OECD 編（オンライン）
50	11/8	Mendeley オンライン講習会（セットアップ編・文献情報の収集と整理編・文献情報の利活用）
51	11/10	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：高島弘幸准教授）
52	11/10、17	基礎からおさえる！法情報の探し方@北大文献収集セミナー法学編（秋編）（対面）
53	11/11	Zotero 講習会（対面+オンライン同時配信）
54	11/15	国際機関情報の探し方セミナー 国連編・EU 編（対面）
55	11/17	Web of Science + EndNote オンライン講習会
56	11/22	北大構成員限定 企業・業界情報調べ方セミナー 日経テレコン講習会（オンライン）
57	12/1	Writing a Manuscript for Journal Submission（英語論文執筆セミナー）（オンライン同時配信）
58	12/13、20	フロンティア基礎科目（学部3年生）（対面+オンデマンド）（歯学部）
59	1/18	オーダーメイド講習会（対面）（農学研究院：実山豊講師）
60	2/28	Essential Tips for Writing a Grant Application（助成金申請書の書き方セミナー）（オンライン同時配信）
61	3/8、3/9	「英語論文の書き方」オンラインセミナー（基礎編）（応用編）
62	3/14	オーダーメイド講習会（対面）（保健科学研究院：澤村大輔講師）
63	通年	図書館30分セミナー（書庫利用ガイダンス編）全24回
64	通年	図書館30分セミナー（これから始める論文収集編）全8回
65	通年	図書館情報入門（学部1年生）（オンデマンドと対面のいずれかを教員が選択）

活動日誌

令和4年度

時期	内容
3月	3/1-5/10 「世界展開力強化事業」図書展示（北図書館）
4月	4/1-4/15 自分を変える、時代を変える 科学技術コミュニケーション図書展示（北図書館）
	4/4-5/29 企画展示「英語」（工学研究院中央図書室）
	4/7-4/8、随時 新任担当者実務研修（オンライン同時配信 or 対面 or オンデマンド）（本館）
	4/15-6/15 スペイン関連図書特設コーナー設置（北図書館）
	4/20 第54回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（オンライン開催）（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	4/25-7/1 「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示（北図書館）
	4/27 第5回電子ジャーナル等整備検討委員会（オンライン開催）
5月	5/9-5/31 日・EU フレンドシップウィークイベント 「EUで今年注目な国をピックアップ：2022年議長国のフランス・チェコを知ろう！」図書展示（本館）
	5/20 国立大学図書館協会令和3年度春季理事会（オンライン開催）（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
	5/12 令和4年度文系部局長等懇談会（オンライン）（館長）
6月	6/1-7/29 企画展示「雨」（工学研究院中央図書室）
	6/6 第17回JPCOAR運営委員会（オンライン開催）（研究支援課長）
	6/7 北海道地区大学図書館協議会令和3年度第2回幹事会議（オンライン開催）（利用支援課長、利用支援課長補佐）
	6/8-7/15 第73回北日本図書館大会北海道大会・第62回北海道図書館大会（オンライン開催）（利用支援課長）
	6/20-8/22 【物理・数学・統計学・化学】入門図書展示（北図書館）
	6/23 第69回国立大学図書館協会総会（オンライン開催）（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長）
7月	7/5 第6回電子ジャーナル等整備検討委員会（オンライン開催）
	7/19 第251回図書館委員会（令和4年度第1回）（オンライン開催）
	7/21-8/5 第1回図書選定小委員会（メール審議）
	7/25-9/15 図書展示「休日にゆっくり読みたい本」（北図書館）
8月	8/1-9/30 企画展示「防災」（工学研究院中央図書室）
	8/9 第64回北海道地区大学図書館職員研究集会（オンライン開催）
	8/26 第71回北海道地区大学図書館協議会総会（札幌学院大学新札幌キャンパス）（館長、事務部長、利用支援課長、利用支援課補佐）
	8/26 Claremont Colleges Librarys 職員講演会「Sharing Scholarship: Libraries USA」（本館）
9月	9/5-9/9 北海道大学インターンシップ（1名） 図書館実習：北海道武蔵女子短期大学（1名）
	9/20-11/18 全国読書マラソン・コメント大賞連携図書展示（本館・北図書館）
10月	10/3-10/31 企画展示「河川」（工学研究院中央図書室）
	10/3-1/31 ダイバーシティ&インクルージョンキャンペーン図書展示（本館・北図書館）
	10/12 第1回学術成果刊行助成審査委員会（オンライン開催）
	10/21 第1回学術研究コンテンツ小委員会（オンライン開催）
	10/24 本館防災訓練
	10/27 室蘭工業大学附属図書館オープニングセレモニー（管理課課長補佐、利用支援課）（室蘭工業大学）
	10/31 第1回図書館情報システム仕様策定委員会

	時期	内容
11月	11/1-11/30	「北海道大学附属図書館×SDGs関連図書展示」(本館)
	11/1-1/13	企画展示「北海道」(工学研究院中央図書室)
	11/2-11/28	北海道大学ハルトプライズ×北図書館連携展示(北図書館)
	11/4	令和4年度第1回北海道図書館連絡会議兼第63回北海道図書館大会運営委員会(第1回)(Web)(利用支援課長)
	11/14	第1回図書館情報システム業務用端末仕様策定委員会
	11/14-11/21	第2回図書選定小委員会(メール審議)
	11/17	国立大学図書館協会令和4年度秋季理事会(Web)(館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)
	11/24	国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議(Web)(事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)
	11/28-12/9	第2回図書館情報システム仕様策定委員会(メール審議)
12月	12/13	第252回図書館委員会(令和4年度第2回)(Web)
	12/14	第2回学術成果刊行助成審査委員会(オンライン開催)
	12/15	令和4年度北海道地区大学図書館職員スキルアップセミナー:西洋古典資料保存講習会(本館)
	12/23	第2回図書館情報システム業務用端末仕様策定委員会
1月	1/16-3/24	企画展示「第6回貸出回数0回図書特集」(工学研究院中央図書室)
	1/18-1/31	第3回図書館情報システム仕様策定委員会(メール審議)
	1/31	第96次国立七大学附属図書館協議会(Web)(館長、副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、研究支援課長)
2月	2/9	令和4年度第2回北海道図書館連絡会議兼第63回北海道図書館大会運営委員会(第2回)(本館大会議室)(利用支援課長)
	2/17	2022年度キャンパス・コンソーシアム函館ライブラリーリンク研修会「図書館と広報:ソーシャルメディアでゆるくつながる図書館へ」主催(研究支援課)
	2/20-3/20	就活応援!就活・お仕事関連図書展示(北図書館)
	2/21-2/28	第3回図書選定小委員会(メール審議)
3月	3/23-3/28	第3回図書館情報システム業務用端末仕様策定委員会(メール審議)
	3/27-5/31	企画展示「アカデミックスキル」(工学研究院中央図書室)

学外講師派遣等

令和4年度

No.	時期	報告者	内容	発表先・媒体	連携・連携先	学内・学外	種別（寄稿、発表、講師、論文等）
1	4月	平館真希子、河野由香里、根本萌、川村路代	第2章 各論 QOL CQ ③生体ドナーと腎移植レシピエント間の関係性への支援がドナー・レシピエントのQOLに影響を及ぼすか	日本腎不全看護学会, CKD 委員会腎移植ケアガイドワーキンググループ, 腎移植ケアガイド, 医学書院, 2022		学外	図書（システムティックレビュー支援による成果物）
2	5月	清重周太郎	北大 DX-SD 研修フィードバックから見る事務職員の業務 DX マインド	第50回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム「教育機関 DX シンポ」		学外	発表
3	6月	川村路代	第23回図書館総合展 JMLA/JPLA フォーラム「医薬生物学分野におけるプレプリントをめぐる動向」参加報告	医学図書館 69 (2) : 111-115, 2022		学外	寄稿
4	7/20	川村路代	インターネットとうまくつきあうための情報の見極め方	札幌市立太平中学校 思春期講話		学外	講師
5	9月	川村路代、河野由香里	北海道大学附属図書館「文献検索相談・代行サービス」実践報告	医学図書館 69 (3) : 160-164, 2022		学外	寄稿
6	9/18	川村路代	話題提供 北海道大学附属図書館におけるシステムティックレビュー執筆支援	大学図書館研究会第53回全国大会 第2分科会：利用者支援「医学・医療系図書館における利用者支援」		学外	発表
7	10/19	川村路代	ヘルスリテラシー講座 PART2 医療・健康情報とのつきあい方	男性健康プロジェクト	保健科学研究所 平野美千代 准教授	学外	講師
8	11/16	川村路代	インターネットとうまくつきあうための情報の見極め方	札幌市立札幌北中学校 保健講話		学外	講師
9	12/15	川村幸、細井真弓美	北海道大学附属図書館における資料の保存と課題	令和4年度北海道地区大学図書館職員スキルアップセミナー：西洋古典資料保存講習会		学外	発表
10	12/19	村木麻衣子	実務事例紹介 北海道大学リポジトリ HUSCAP の現在	第15回学術コミュニケーションセミナー（月刊 JPCOAR）「オープンアクセス新任担当者相談会」	オープンアクセスリポジトリ推進協会	学外	発表
11	1/30	松尾博朋	機関リポジトリにおける研究データの登録事例分析	研究データ管理支援の実践に向けた事例共有・意見交換会	国立大学図書館協会資料委員会 オープンサイエンス小委員会	学外	発表
12	2/16	川村路代	医療・健康情報の見極め方	介護予防教室 すこやか倶楽部	北区役所保健福祉課、北区介護予防センター 屯田	学外	講師

統計

基盤統計

令和4年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：R4.4.1～R5.3.31）

区分	所蔵種類数 (令和5年3月31日現在)			受入種類数(令和4年度)								
				購入			寄贈			合計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館(本館)	21,970	14,207	36,177	151	28	179	361	22	383	512	50	562
附属図書館(北図書館)	928	615	1,543	127	5	132	11	1	12	138	6	144
文学研究院・文学院・文学部	2,014	699	2,713	217	152	369	466	10	476	683	162	845
法学研究科・法学部	650	286	936	137	164	301	270	21	291	407	185	592
経済学研究院・経済学院・経済学部	999	232	1,231	111	12	123	265	23	288	376	35	411
医学研究院・医学院・医学部	3,263	2,485	5,748	163	25	188	140	4	144	303	29	332
歯学研究院・歯学院・歯学部	579	501	1,080	27	6	33	111	10	121	138	16	154
工学研究院・工学院・工学部	2,601	2,705	5,306	92	30	122	101	7	108	193	37	230
獣医学研究院・獣医学院・獣医学部	504	837	1,341	14	20	34	29	7	36	43	27	70
情報科学研究院・情報科学院	390	458	848	52	4	56	12	0	12	64	4	68
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	3,241	2,226	5,467	65	13	78	144	14	158	209	27	236
地球環境科学研究院・環境科学院	265	328	593	22	3	25	15	1	16	37	4	41
理学研究院・理学院・理学部	753	3,497	4,250	45	44	89	22	88	110	67	132	199
薬学研究院・薬学部	165	131	296	8	0	8	24	0	24	32	0	32
農学研究院・農学院・農学部	5,293	3,509	8,802	161	25	186	211	48	259	372	73	445
先端生命科学研究院・生命科学学院	12	14	26	5	0	5	0	0	0	5	0	5
教育学研究院・教育学院・教育学部	725	133	858	104	13	117	90	2	92	194	15	209
メディアコミュニケーション研究院、国際広報メディア・観光学院	60	33	93	26	12	38	6	0	6	32	12	44
保健科学研究院・保健科学院	802	131	933	36	1	37	25	2	27	61	3	64
公共政策大学院	2	0	2	4	0	4	0	0	0	4	0	4
低温科学研究所	833	947	1,780	14	1	15	45	8	53	59	9	68
電子科学研究所	20	6	26	13	1	14	0	0	0	13	1	14
遺伝子病制御研究所	5	22	27	2	0	2	1	0	1	3	0	3
触媒科学研究所	85	381	466	10	4	14	6	0	6	16	4	20
スラブ・ユーラシア研究センター	197	1,643	1,840	16	157	173	31	19	50	47	176	223
情報基盤センター	50	6	56	1	0	1	0	0	0	1	0	1
国際連携機構	2	1	3	4	0	4	1	0	1	5	0	5
高等教育推進機構	82	69	151	7	7	14	2	2	4	9	9	18
総合博物館	848	418	1,266	1	0	1	2	1	3	3	1	4
北方生物圏フィールド科学センター	18	65	83	18	2	20	1	0	1	19	2	21
大学文書館	299	9	308	64	4	68	28	1	29	92	5	97
アイヌ・先住民研究センター	118	12	130	3	1	4	7	0	7	10	1	11
人間知・脳・AI研究教育センター	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
創成研究機構	5	0	5	0	0	0	2	0	2	2	0	2
計	47,778	36,607	84,385	1,720	735	2,455	2,429	291	2,720	4,149	1,026	5,175

令和4年度蔵書・受入統計（対象期間：R4.4.1～R5.3.31）

区分	所蔵冊数 (令和5年3月31日現在)			受入冊数(令和4年度)											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館(本館)	1,028,007	880,105	1,908,112	3,751	400	4,151	929	967	1,896	235	36	271	4,915	1,403	6,318
附属図書館(北図書館)	263,358	116,373	379,731	3,392	196	3,588	247	67	314	24	0	24	3,663	263	3,926
文学研究院・文学院・文学部	102,694	46,990	149,684	600	227	827	2,222	780	3,002	199	152	351	3,021	1,159	4,180
法学研究科・法学部	7,805	1,701	9,506	299	157	456	219	377	596	271	271	542	789	805	1,594
経済学研究院・経済学院・経済学部	6,545	2,364	8,909	176	44	220	117	3	120	139	101	240	432	148	580
医学研究院・医学院・医学部	52,432	93,455	145,887	371	42	413	97	269	366	104	3	107	572	314	886
歯学研究院・歯学院・歯学部	22,662	15,998	38,660	204	9	213	28	0	28	36	7	43	268	16	284
工学研究院・工学院・工学部	104,271	100,589	204,860	695	116	811	602	115	717	221	26	247	1,518	257	1,775
獣医学研究院・獣医学院・獣医学部	8,729	23,311	32,040	39	2	41	10	15	25	4	16	20	53	33	86
情報科学研究院・情報科学院	13,469	17,012	30,481	116	0	116	98	35	133	0	0	0	214	35	249
水産科学研究院・水産科学院・水産学部	73,440	54,757	128,197	233	62	295	56	23	79	43	25	68	332	110	442
地球環境科学研究院・環境科学院	10,471	9,233	19,704	124	38	162	131	26	157	9	0	9	264	64	328
理学研究院・理学院・理学部	47,302	173,486	220,788	426	77	503	606	366	972	12	24	36	1,044	467	1,511
薬学研究院・薬学部	8,056	3,627	11,683	74	8	82	26	5	31	11	0	11	111	13	124
農学研究院・農学院・農学部	127,254	97,046	224,300	353	34	387	236	191	427	63	60	123	652	285	937
先端生命科学研究院・生命科学院	265	257	522	44	0	44	1	0	1	0	0	0	45	0	45
教育学研究院・教育学院・教育学部	14,133	3,099	17,232	205	58	263	102	23	125	82	6	88	389	87	476
メディアコミュニケーション研究院、国際広域メディア・観光学院	2,251	3,123	5,374	1	4	5	32	26	58	0	0	0	33	30	63
保健科学研究院・保健科学院	28,672	4,032	32,704	449	6	455	52	0	52	53	4	57	554	10	564
公共政策大学院	0	0	0	29	35	64	4	0	4	0	0	0	33	35	68
低温科学研究所	10,528	24,361	34,889	1	6	7	7	1	8	13	5	18	21	12	33
電子科学研究所	603	516	1,119	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
遺伝子病制御研究所	68	43	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触媒科学研究所	4,823	16,781	21,604	0	2	2	1	0	1	0	0	0	1	2	3
スラブ・ユーラシア研究センター	2,777	73,121	75,898	117	805	922	144	884	1,028	23	270	293	284	1,959	2,243
情報基盤センター	88	1	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際連携機構	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等教育推進機構	2,614	649	3,263	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3	0	3
大学院教育推進機構	108	10	118	0	0	0	4	0	4	0	0	0	4	0	4
総合博物館	10,678	3,559	14,237	0	1	1	148	4	152	0	0	0	148	5	153
北方生物圏フィールド科学センター	6,455	1,820	8,275	4	2	6	192	12	204	0	0	0	196	14	210
大学文書館	3,578	70	3,648	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局	0	0	0	4	39	43	0	0	0	0	0	0	4	39	43
アイヌ・先住民研究センター	4,741	661	5,402	46	3	49	90	5	95	0	0	0	136	8	144
人間知・脳・AI研究教育センター	16	17	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創成研究機構	19	3	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,968,913	1,768,170	3,737,083	11,753	2,373	14,126	6,405	4,194	10,599	1,542	1,006	2,548	19,700	7,573	27,273

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。
 ※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ現在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
ScienceDirect (Elsevier)	0	2,256	2,256
IEEE/IET Electronic Library	0	383	383
Oxford Journal Collection	0	353	353
Wiley Online Library	0	1,380	1,380
その他	30	1,985	2,015
小計	30	6,357	6,387
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
BioOne Complete	0	218	218
EBSCO Academic Search Premier	0	4,645	4,645
JSTOR	0	190	190
ProQuest	0	8,870	8,870
メディカルオンライン	1,552	0	1,552
小計	1,552	13,923	15,475
合計	1,582	20,280	21,862

(R5.3.31 現在)

電子ブック提供タイトル数

プロバイダ	タイトル数		計
	和	洋	
ACM Digital Library	0	11,837	11,837
EBSCOhost	288	2,000	2,288
Elsevier	0	1,274	1,274
Kinokuniya Company Ltd. (KinoDen)	3,091	8	3,099
Meteo, Inc. (メディカルオンライン)	716	0	716
NetAdvance (ジャパンナレッジ)	1,404	2	1,406
ProQuest Ebooks	0	1,003	1,003
Springer Nature	1	31,985	31,986
Wiley	0	1,199	1,199
丸善雄松堂株式会社 (Maruzen eBook Library)	6,401	1,542	7,943
その他	186	599	785
合計	12,087	51,449	63,536

(R5.3.31 現在)

契約データベース一覧

ABSEES (American Bibliography of Slavic and East European Studies)
Biological Science Database
CINAHL
CNKI：中国学術文献オンラインサービス
EconLit
Lexis (旧 Lexis Advance)
MarinLit
MathSciNet
Oxford English Dictionary
ProQuest Dissertations & Theses A&I
Reaxys
CAS SciFinder-n
Sociological Abstracts
TAIR (The Arabidopsis Information Resource)
Ulrichsweb (Ulrich's Periodicals Directory)
Web of Science Core Collection
医中誌 Web
ジャパンナレッジ Lib
日経 BP 記事検索サービス
日経テレコン 21
法科大学院教育研究支援システム (LEX/DB インターネット)
法情報総合データベースサービス (第一法規)

(R5.3.31 現在)

利用統計

令和4年度利用統計（対象期間：R4.4.1～R5.3.31）

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	217,814	337	218,151	95,888	24,347	120,235	1,377	2,984	619	1,139	50	145	316
附属図書館（北図書館）	381,725	9	381,734	116,294	12,647	128,941	137	198	43	69	43	7	198
文学研究院・文学部図書室	936	0	936	312	48	360	530	117	287	30	79	14	404
経済学部・経済学部図書室	5,525	0	5,525	391	31	422	-	-	-	-	-	-	44
医学研究院・医学部・医学部図書室	26,845	0	26,845	6,155	1,191	7,346	651	613	9	10	9	38	134
歯学研究院・歯学部・歯学部図書室	17,187	7	17,194	3,467	880	4,347	48	66	0	6	12	1	303
工学研究院図書室	55,646	2	55,648	15,542	3,810	19,352	229	213	5	25	13	34	224
獣医学研究院図書室	-	1	1	1,096	498	1,594	26	81	4	9	10	12	-
水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室	23,017	4	23,021	3,833	227	4,060	60	161	181	46	20	26	389
地球環境科学研究院図書室	1,836	14	1,850	469	232	701	25	20	8	6	40	4	48
理学研究院・理学部・理学部図書室	7,228	-	7,228	5,957	1,492	7,449	111	115	21	22	39	20	256
薬学研究院・薬学部図書室	24,009	0	24,009	1,872	70	1,942	6	29	10	0	1	3	-
農学研究院図書室	27,161	27	27,188	5,002	738	5,740	1,027	282	33	38	18	39	128
教育学院・教育学研究院図書室	4,906	-	4,906	578	60	638	0	0	0	0	-	-	54
保健科学研究院図書室	28,418	8	28,426	1,906	294	2,200	334	178	3	4	20	18	202
低温科学研究所図書室	610	1	611	105	35	140	18	20	0	4	13	8	50
北キャンパス図書室	696	-	696	115	52	167	10	31	8	1	6	4	10
計	823,559	410	823,969	258,982	46,652	305,634	4,589	5,108	1,231	1,409	373	373	2,760

経済学部、教育学部は相互協力を附属図書館が担当

主要な電子ジャーナルのアクセス件数
（対象期間：R4.1.1～R4.12.31）

出版社系パッケージ	件数
ScienceDirect (Elsevier)	832,199
Wiley Online Library	393,444
Oxford Journal Collection	51,698
IEEE/IET Electronic Library	36,893
その他	1,036,293
小計	2,350,527
アグリゲータ系パッケージ	件数
メディカルオンライン	63,822
ProQuest	26,139
JSTOR	11,456
BioOne Complete	5,566
EBSCO Academic Search Premier	5,447
小計	112,430
合計	2,462,957

主要な電子ブックのアクセス件数
（対象期間：R4.1.1～R4.12.31）

プロバイダー	件数
NetAdvance (ジャパンナレッジ)	118,844
丸善雄松堂株式会社 (Maruzen eBook Library)	38,667
Kinokuniya Company Ltd. (KinoDen)	13,580
Springer Nature	7,401
Elsevier	2,388
Wiley	2,058
ProQuest Ebooks	824
EBSCOhost	742
合計	184,504

図書館 HP 等の利用

区分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	2,355,304	7,512,056	9,867,360
OPAC の検索回数	696,330	1,668,347	2,364,677
HUSCAP ダウンロード件数	47,207	8,462,002	8,509,209
北方資料データベースアクセス件数	196,508	8,196,992	8,393,500
Twitter フォロワー数			2,098

(R5.3.31 現在)

主要なデータベースのアクセス件数
（上位 15 データベース）（対象期間：R4.4.1～R5.3.31）

データベース名	件数
Web of Science with InCites Journal and Highly Cited Data	360,999
CAS SciFinder-n	175,841
ジャパンナレッジ Lib	146,193
医中誌 Web	114,800
日経テレコン 21	87,405
MarinLit	68,071
MathSciNet	43,569
CNKI：中国学術文献オンラインサービス	41,091
Reaxys	38,246
日経 BP 記事検索サービス	18,045
TAIR (The Arabidopsis Information Resource)	17,681
法科大学院教育研究支援システム (LEX/DB インターネット)	5,875
Oxford English Dictionary	4,229
Lexis (旧 Lexis Advance)	3,589
CINAHL	3,290
合計	1,128,924

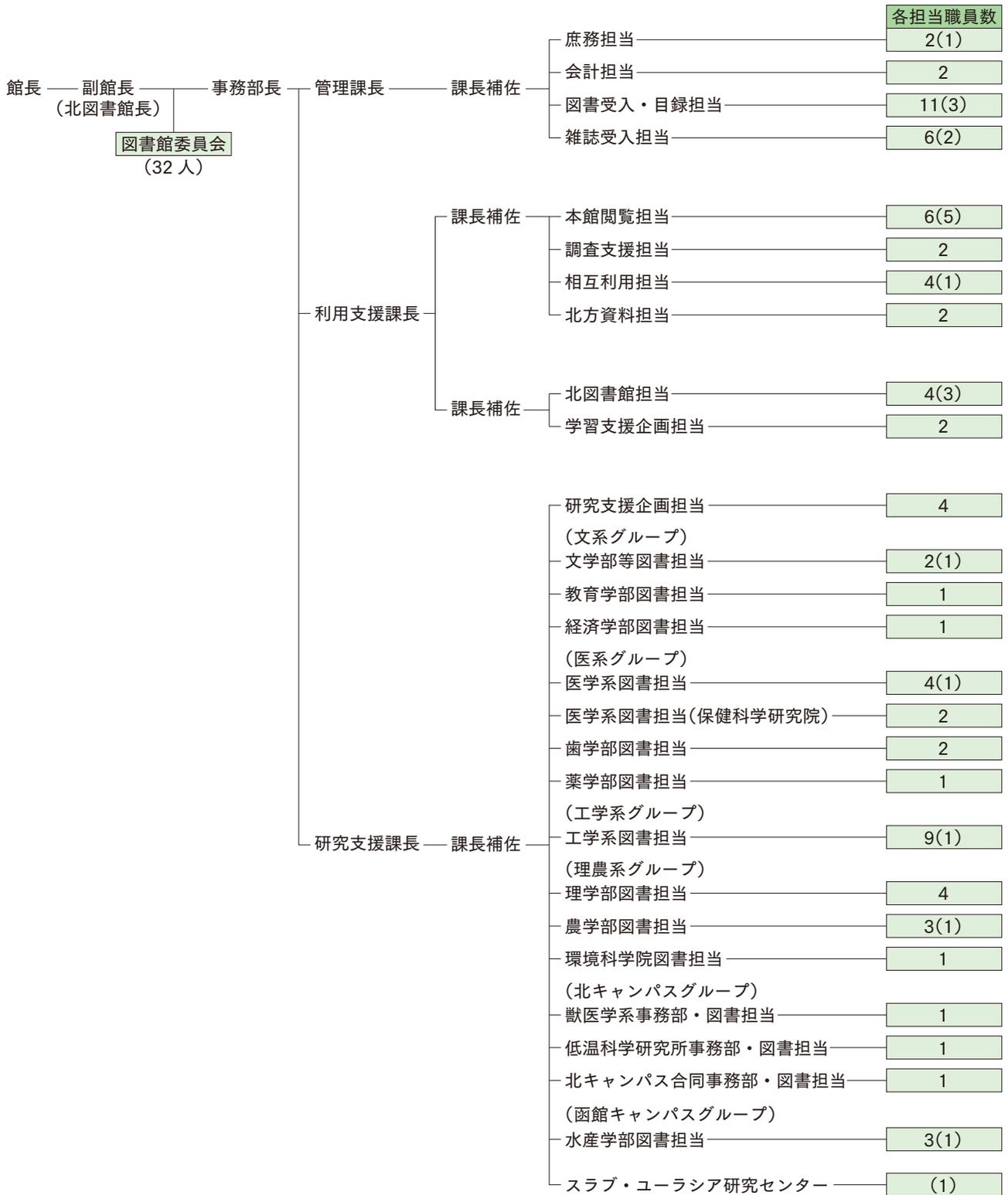
図書館委員会名簿

令和5年度図書館委員会委員名簿

令和5年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名
理事・副学長	館 長	山 本 文 彦
大学院獣医学研究院	副 館 長	稲 葉 睦
大学院法学研究科	教 授	會 澤 恒
大学院水産科学研究院	教 授	澤 辺 智 雄
大学院地球環境科学研究院	准 教 授	藤 原 正 智
大学院理学研究院	准 教 授	清 水 洋 平
大学院薬学研究院	准 教 授	竹 内 雄 一
大学院農学研究院	教 授	尾之内 均
大学院先端生命科学研究院	教 授	相 沢 智 康
大学院教育学研究院	教 授	池 田 恵 子
大学院メディア・コミュニケーション研究院	准 教 授	山 田 悦 子
大学院保健科学研究院	准 教 授	長谷川 直 哉
大学院工学研究院	准 教 授	松 井 良 太
大学院経済学研究院	教 授	岩 田 智
大学院医学研究院	教 授	岩 崎 倫 政
大学院歯学研究院	准 教 授	吉 村 善 隆
大学院獣医学研究院	准 教 授	今 内 覚
大学院文学研究院	教 授	佐 藤 健 太 郎
大学院情報科学研究院	教 授	工 藤 峰 一
大学院公共政策学連携研究部	准 教 授	開 出 雄 介
北海道大学病院	教 授	坂 本 直 哉
低温科学研究所	教 授	木 村 勇 気
電子科学研究所	准 教 授	平 井 健 二
遺伝子病制御研究所	准 教 授	紙 谷 尚 子
触媒科学研究所	准 教 授	飯 田 健 二
人獣共通感染症国際共同研究所	准 教 授	大 場 靖 子
スラブ・ユーラシア研究センター	准 教 授	青 島 陽 子
高等教育推進機構	准 教 授	岩 間 徳 兼
附属図書館事務部	事務部長	鈴 木 秀 樹
附属図書館管理課	課 長	樋 口 秀 樹
附属図書館利用支援課	課 長	横 井 有 紀
附属図書館研究支援課	課 長	鶉 澤 和 往

組織図 (令和5年4月1日現在)



※ () 内は非正規職員で外数

職名	事務部長	課長	課長補佐	係長	係員等	合計
計	1人	3人	4人	28人	53(21)人	89(21)人

※ () 内は非正規職員で外数

北海道大学附属図書館年報 2023

発行 令和 5 年 10 月

編集 北海道大学附属図書館

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目

TEL : 011-706-2967 FAX : 011-747-2855

Homepage : <https://www.lib.hokudai.ac.jp>

X (旧Twitter) : https://twitter.com/Hokudai_Library



Homepage



X (旧 Twitter)